

## 人文社会科学研究所（学際系）教員 2018 年度主要研究業績

（著訳者名あいうえお順。一部「2017 年度主要業績」掲載漏れ業績も含む）

- 新井高子『東北おんば訳 石川啄木のうた』未來社、2017 年。
- 新井高子「『童謡』問題」『びーぐる 詩の海へ』42 号、2019 年、12-5 頁。
- 新井高子「人形が人間になる時 ——唐十郎戯曲『夜壺』を読む」『ミテ 詩と批評』146 号、2019 年、1-4 頁。
- 市川康夫「フランス田園回帰にみるネオルーラル現象の展開と現在」『農業と経済』84 巻 9 号、2018 年、47-53 頁。
- 市川康夫「フランス中央高地における過疎化と農村再編」『ローカリゼーション——地域へのこだわり』朝倉書店、2018 年、76-85 頁。
- 一ノ瀬俊也『昭和戦争史講義 ジブリ作品に歴史を学ぶ』人文書院、2018 年。
- 一ノ瀬俊也「従軍日記・遺書に見る日本兵の死生観」大川史織編『マーシャル、父の戦場 ある日本兵の日記をめぐる歴史実践』みずき書林、2018 年、136-47 頁。
- 一ノ瀬俊也「解題」、海軍有終会編『幕末以降帝国軍艦写真と史実（新装版）』吉川弘文館、2018 年、1-5 頁。
- 一ノ瀬俊也「解説」、藤原彰『餓死した英霊たち』ちくま学芸文庫、2018 年、267-74 頁。
- 井上智勝「時間・空間を越える——実証史学を受け継いで」高埜利彦編著『近世史研究とアーカイブズ学』青史出版、2018 年、56-61 頁。
- 小野寺史郎「デモクラシーとミリタリズム——民国知識人の軍事・社会観」中村元哉編『憲政から見た現代中国』東京大学出版会、2018 年、53-73 頁。
- 小野寺史郎（林松濤訳）「徳謨クラ西与軍国主義——一戦後中国的軍事教育与兵制方案」李在全主編『中華民国史青年論壇』第 1 輯、2018 年、115-130 頁。
- 小野寺史郎「第一次世界大戦期の中国知識人と「愛国」の群衆心理——陳独秀を中心に」『メトロポリタン史学』14 号、2018 年、27-50 頁。
- 小野寺史郎「戦後日本の中国史研究における『近代』」、山室信一・岡田暁生・小関隆・藤原辰史編『われわれはどんな「世界」を生きているのか——来るべき人文学のために』2019 年、223-42 頁。
- 加地大介『もの——現代的実体主義の存在論』春秋社、2018 年。
- 金井勇人・河正一・金聖実「『坊ちゃん』における指示詞『その』『あの』の表現効果——中国語版・韓国語版と対照して」『埼玉大学日本語教育センター紀要』13 号、2019 年、3-12 頁。
- Yasuko KAWANO, 'A Critical Review of English Locative Alternation Studies: Proposal for Distinguishing between Alternating and Nonalternating Verbs', *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 54(2), 2019, pp. 17-37.

- 草野大希「サルマン国王即位後の米国の対サウジアラビア外交——オバマとトランプ政権下で動揺する『同盟関係』」『中東研究』534号、2019年、26-39頁。
- 小林亜子「フランス革命と植物園——公教育組織法と啓蒙の実験」『歴史と地理 世界史の研究』721号、2019年、1-24頁。
- 小林亜子「フランスの植民地と人口問題（その113）～（その121）」『ESTRELA』266～274号、2018～2019年、（各号4～5頁の分割掲載）。
- 権純哲「다카하시 도오루(高橋亨)의 퇴계관-조선유학사 강의록을 중심으로」『退溪學論集』23号、2018年、7-40頁。
- Masahiro SATO, 'The Diffusion Process of the Concept of Trauma in Contemporary Japan, 1990s–2000s', *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 54(1), 2018, pp. 1-9.
- Sovannroeun Samreth and Hidenobu Okuda, 'Economic Growth and Dollarization in Cambodia', *Asian Studies (Aziya Kenkyu)*, 65(1), 2019, pp. 61-78.
- Sovannroeun Samreth and Pagna Sok, 'Revisiting the Impacts of Exchange Rate Movement on the Dollarization Process in Cambodia', *Social Science Review (Saitama University)*, 156, 2019, pp. 119-134.
- Zilla Zara-Papp, 'Landscapes as Identity and Cultural Heritage in Animation - The Australian Bushland, Japanese Urban Agglomeration and Eurasian Steppes', *Landscapes: The Journal of the International Centre for Landscape and Language*, 9(1), 2019, pp. 39-54.
- 嶋津拓「旧制浦和高等学校のアフガニスタン人留学生——どうして彼は浦和で学ぶことになったのか」『埼玉大学紀要（教養学部）』54巻1号、2018年、11-28頁。
- 杉浦晋「一九四七年の革命、アレゴリー、アイロニー——石川淳、林達夫から大西巨人、吉本隆明へ」『埼玉大学紀要（教養学部）』54巻1号、2018年、19-30頁。
- 杉浦晋「吉田健一『東京の昔』をめぐって——「水」、「金沢」、そしてジャクソン・ポロック」『埼玉大学紀要（教養学部）』54巻2号、2019年、223-38頁。
- 鮮于媚「シャドーイングプログラムを用いた発音練習方法の検討——シャドーイング時の発話およびアンケート調査の分析から」『埼玉大学日本語教育センター』13号、2019年、13-25頁。
- 高畑悠介「『ノストローモ』における政治の抑圧の諸相」『コンラッド研究』10号、2019年、35-50頁。
- 石澤一志・武井和人・日高愛子・山本啓介「室町期歌会資料集成稿——釈文と略解題（七）」『研究と資料』79号、2018年、11-22頁。
- 石澤一志・武井和人・日高愛子「室町期歌会資料集成稿——釈文と略解題（八）」『研究と資料』80号、2018年、21-52頁。
- 辻絵理子『ビザンティン余白詩篇写本挿絵研究』中央公論美術出版、2018年。
- 辻絵理子「ビザンティン詩篇写本挿絵におけるダヴィデの表象—Cod. Vat. gr. 1927のキリスト伝図像を中心に」『鹿島美術研究』35号、2018年、1-7頁。
- 富田晃正「アメリカ FTA 政策をめぐる外交利益と経済利益の交錯」『埼玉大学紀要（教養学部）』54巻2号、2019年、71-86頁。

- 外山紀久子「第12章 旅立ちの日のための『音楽』(ダンスも含む)」および「第3章 ダンスにおける痛みの身体 (イヴォンヌ・レイナー著、外山紀久子訳)」、中島那奈子・外山紀久子編著『老いと踊り』勁草書房、2019年、335-73頁。
- [翻訳] イヴォンヌ・レイナー著 (外山紀久子訳)「第3章 ダンスにおける痛みの身体」、中島那奈子・外山紀久子編著『老いと踊り』勁草書房、2019年、93-101頁。
- Nakamura Daisuke, 'Interactions of pre-Xiongnu and Transition of Slab Graves', *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 54(2), 2019, pp. 87-98.
- Eregzen Gelegdorj, Nakamura Dasiuke, Kuribayashi Seiji, and Amartuvshin Chunag, 'Excavation Research of the Burials', *Archaeological Sites in the Zuun Baidlag River Basin*, 2018, pp. 157-204.
- 中本進一「留学生支援ニーズの多様化と留学生アドバイザーング: コンテキストアプローチの実践」『埼玉大学紀要 (教養学部)』54巻2号、2019年、99-109頁。
- 成田健太郎『顔氏家訓にみる南北朝の書藝』『六朝學術學會報』20集、2019年、57-70頁。
- [注釈付き翻訳] NARITA Kentaro, 'Taiping Yulan, "Calligraphy": An Annotated Translation (1)', *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 54(1), 2018, pp. 41-68.
- [注釈付き翻訳] NARITA Kentaro Taiping Yulan, "Calligraphy: An Annotated Translation (2)", *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 54(2), 2019, pp. 111-130.
- ビュールク・トーヴェ『二代目市川團十郎の日記にみる享保期江戸歌舞伎』文学通信、2018年。
- [歌舞伎上演戯曲字幕翻訳] Kawatake Mokuami, *The Back Story to the Famous "Turbulence in the Date Household"*, translated by Tove Björk. [原著: 河竹黙阿弥『裏表先代萩』]
- [歌舞伎上演戯曲字幕翻訳] Anon., *The Flamboyant Woman*, translated by Tove Björk, 2018. [原著: 作者不詳『女伊達』]
- [歌舞伎上演戯曲字幕翻訳] Kawatake Mokuami, *Windblown Gosuke*, translated by Tove Björk, 2018. [原著: 河竹黙阿弥『野晒悟助 (二段目)』]
- [歌舞伎上演戯曲字幕翻訳] Anon., *Snow in Yoshiwara Pleasure Quarters*, translated by Tove Björk, 2018. [原著: 作者不詳『傾城雪吉原』]
- [歌舞伎上演戯曲字幕翻訳] Anon., *Spring Horses Celebrating a Year of Success*, translated by Tove Björk, 2018. [原著: 作者不詳『當年祝春駒』]
- [歌舞伎上演戯曲字幕翻訳] Mimasuya Nisouji, *The Boatsman and the Thunderbolt*, translated by Tove Björk, 2018. [原著: 三樹屋二三次『雷船頭』]
- [歌舞伎上演戯曲字幕翻訳] Sakurada Jisuke (Jr.), *The Puppeteer*, translated by Tove Björk, 2018. [原著: 桜田治助(二代目)『傀儡師』]
- Karl Friday, 'The Way of Which Warriors? Bushidō & the Samurai in Historical Perspective', *Asian Studies*, 6(2), 2018, pp. 15-31.
- Roger H. Brown, 'Perceptions of Fascism and the New Bureaucrats in Early Showa Japan', *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 54(1), 2018, pp. 69-103.
- Lars Bertram, 'Kon Wajirō: Vierzig Jahre im Kittel Janpā o kite yonjūnen Kleidung im Kontext der Modernologie', *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 54(2), 2019, pp. 131-44.

- 星野徹「意識と時間」『埼玉大学紀要（教養学部）』54巻1号、2018年、105-19頁。
- 星野徹「意識と持続」『埼玉大学紀要（教養学部）』54巻2号、2019年、145-62頁。
- 三浦敦「敦持続可能性と社会の構築：ハイブリッドな現実の社会過程の多元的な分析の必要性」前川啓司編著『21世紀の文化人類学』新曜社、2018年、261-318頁。
- Atsushi Miura, 'Système social traditionnel et marché moderne chez les exploitant philippins à Bohol', *Saitama University Review (Faculty of Liberal Arts)*, 54(2), 2019, pp. 163-73.
- 大津耕陽・福島史康・高橋秀和・平原実留・福田悠人・小林貴訓・久野義徳・山崎敬一「Affinity Live：演者と観客の一体感を増強する双方向ライブ支援システム」『情報処理学会論文誌ジャーナル(Web)』59巻、2019-29頁。
- 小松由和・山崎晶子・山崎敬一・池田佳子・歌田夢香・久野義徳・小林貴訓・福田悠人「遠隔買い物支援における複数視点と音声の位置」『情報処理学会論文誌ジャーナル(Web)』60巻、2019年、157-65頁。
- 山崎敬一・山崎晶子「ワークプレイス研究と自然的な観察の意義：ある会議場面の分析から」『日本労働研究雑誌』61巻8号、73-85頁。
- 山本良「客観的制度——その国際法上の意義と現代的展開に関する一考察」岩沢雄司ほか編『国際法のダイナミズム 小寺彰先生追悼論文集』有斐閣、2019年、25-46頁。
- 劉志偉「日本語教育の立場から垣間見たラ行音撥音化——日本語学習者の視点から」『埼玉大学紀要（教養学部）』54巻1号、2018年、121-35頁。
- 劉志偉「撥音は解析システムにとっても簡単ではなかったんだ——BCCWJを中心に」『埼玉大学紀要（教養学部）』54巻2号、2019年、175-200頁。